

冷戦後の時代：核兵器廃絶と核戦争防止の緊急課題

ジョゼフ・ガーソン（平和・軍縮・共通安全保障キャンペーン 米国）

ことしもビキニデー集會に参加できて光榮です。数世紀にわたり米国と世界を傷つけてきた人種主義と同様、マーシャルの人々は、権力と特権の追求の犠牲にされてきました。この傲慢な軍事優先政治はまた、1967年までに核実験の「死の灰」によって34万から69万の米国民の命をも奪いました。

しかし私たちは、核のトラウマを核兵器廃絶のための力に変えたマーシャル諸島や日本のヒバクシャの知的・道徳的な力を称えずにはいられません。

選挙制度の腐敗、人種主義、憲法・真実・メディア・法と科学の支配に対する攻撃、途方もない所得格差によって、米国は、南北戦争以来最も深刻な危機に瀕しています。しかし、トランプの違法な非常事態宣言反対の全米デモが示したように、わが国の民主的文化はしぶとく生きており、トランプ専制政治は、遅くとも2020年には終焉を迎えるでしょう。

しかし、トランプ政権が終わっても平和と調和が実現するわけではありません。文化と政治体制の軍事化、米国の覇権の維持とロシア・中国に対する全面戦争準備への支持があるため、私たちは抵抗と変革の努力を続けていかなければなりません。

米国の国家的危機は、重大な時期に起こっています。数世代にわたった米国の比類なき優位は終わりました。衰退しつつある帝国の秩序と、生まれようとする新しい秩序との狭間には、不安要素と核戦争を含む非常に大きな危険が充満しています。しかしそれは、歴史を平和と正義の方向へと向けるチャンスでもあります。

トランプが政権に就く前に「冷戦後」の時代は終わっていました。中国が「対等な競争相手」となり、プーチンは急降下するロシア経済を安定させ、軍事力を再活性化していました。サイバー活動は米国の戦略的有利を浸食してきました。ブッシュとチェイニーのイラク侵攻は、中東での米国の覇権を終わらせました。

この現実を受け入れず、米国は新たな核軍拡競争で自国の支配を強化しようとしています。「核態勢見直し」は第一撃攻撃ドクトリンを再確認し、使いやすい核兵器とミサイルの製造・配備を求め、核軍備の近代化に巨額の支出を求めています。米国のINF条約からの離脱は、ロシアへの懸念というよりは、中国の台頭を封じるためです。トランプは外交で鉄球を振り回しながら、「われわれは誰よりもはるかに多くカネを持っている」と豪語し軍拡競争に乗り出しています。さらにイランの体制変革の一環としてイラン核合意を破棄したのです。

ですが私たちは、核兵器禁止条約の交渉で被爆者の証言が重要な役割を果たしたことを知っています。人々の圧力で世界を変えることはできるのです。そのような勢力が再び、世界中で活気づいています。

米国ではいま、バーニー・サンダースと並んで最も進歩派のエリザベス・ウォーレン上院議員が民主党の大統領候補指名を争っていますが、彼女は新型核兵器とミサイルへの支出をやめるよう要求し、核の先制不使用宣言も提唱しています。十分とはいえませんが、ニューヨークタイムズの社説に見られるように、何年も脇に追いやられてきた核兵器をめぐる議論は今、国民的議論の中心に戻りつつあります。

現在、「瀬戸際から引き返せ」キャンペーンは、タウンミーティングなど草の根で、そして市町村議会、州議会でも成功しつつあります。掲げている要求は、核先制使用の放棄、核戦争開始の大統領の無制約の権限の廃止、核発射即応態勢の解除、1兆7千億ドルの核兵器近代化の中止、そして「核武装国間で検証可能な核軍備全廃の合意を積極的に推進する」ことです。マサチューセッツで、私たちは州議会に、軍縮、平和と正義のために9つの法案を提案しました。

私たちの平和・軍縮・共通安全保障キャンペーン（CPDCS）は、国際平和ビューロー、「平和と地球」ネットワーク、ローザ・ルクセンブルグ財団とともに、この春のNPT準備委員会の期間に、国際平和軍縮会議を計画しています。運動代表や軍縮専門家が集い、世界的な混乱とそれに対する運動をどう構築するかについて分析します。この会議はまた、広島・長崎の被爆75年に向けて運動をつくるために、2020年NPT再検討会議の時に、ニューヨークで原水爆禁止世界大会開催を計画する機会ともなるでしょう。

最後に、私たちのキャンペーンは、現在の危険な瀬戸際政策に代わる、共通の安全保障のビジョンを創るつもりです。冷戦終結に大きく貢献したパルメ委員会の伝統の上に、ヨーロッパやロシアのパートナーとともに、新たな共通の安全保障・非核の秩序とそれを促進する国際ネットワークの形成をよびかける国際声明を準備しています。同時に、米中／アジア太平洋の共通の安全保障のための声明を発表しようと考えています。この重要なイニシアティブの土台作りに、原水協のみなさんと一緒に取り組めることを楽しみにしています。

最後に私は、誰もが知っている真実を確認して希望を新たにしたいと思います。最も暗いのは夜明け前であり、私たちが歩くことで道は開けるのです。歴史の弧を平和と正義の方向へ曲げることができるのは人民の力です。団結すれば私たちは必ず勝利できます。